平成24年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 082

提案機関名

かながわ西湘農業協同組合

要望問題名 湘南ゴールド浮皮果実の既存選果機での簡易判別方法の開発

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】

昨年度の回答の光学機の導入は費用的のも難しい現状であるため、従来選果機で対応可能な判 別方法の確立を願いたい。

尚、選果台での目視による判別は非常に困難で、触手による選果方法になっている。今後、取扱量 が増加した場合、対応が困難になり品質の低下は避けられない状況。家庭選果の作業方法の検討も お願いしたい。

解決希望年限

①1年以内

②2~3年以内

③4~5年以内 ④5~10年以内

対応を希望す る研究機関名

①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター

④自然環境保全センター

備考

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 担当部所 農業技術センター

経営情報研究部

対応区分

①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 (①、②、④の場合)

対応の内容等

昨年度の回答の光学機の導入は費用的のも難しい現状であるとのことですが、現状の科学技術で は光学的方法、あるいは物理学的な特殊な方法で判別する以外ありません。また、比重により判別す る塩水選などありますが、精度が劣ります。ご要望に対応するためには、全く新しい方法の検討が必要 となりますので、多方面から情報収集し解決方策の方向を探ります。

解決予定年限

①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

備考